



2025

学校だより 本荘 Smile

令和7年度 第36号
令和7年12月24日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

2学期の終業式を行いました。今年の漢字は「熊」です。どんなお話があったのでしょうか。



2学期の終業式を行いました。令和7年、2025年も本当に皆様にはお世話になりました。こどもたちも元気に育っていて校長としてはうれしい限りです。紙面ではございますが、感謝の気持ちを述べさせていただきます。ありがとうございます。

思えば、今年はとても活気のある年となりました。150周年記念の行事が目白押しで、実行委員会の皆様、地域の皆様、そしてPTA役員の方々はじめ保護者の皆様のお力添えもあって、みんなが笑顔の創立記念式典になったと思っています。すばらしかったです。

毎年、2学期の終業式では「今年の漢字」を紹介しているのですが、今年の漢字は、ご存じのように「熊」でした。各地での被害の大きさを物語っていると思うのですが、それだけではないでしょう。

熊に関しては、我々人間が環境や自然とどう向き合っていくかが問われているのだと思います。そして、熊問題だけでなく、様々な社会の現実をしっかりと受け止め、よりよい社会をつくりあげ

ていくことができる人にこどもたちを育てていかなければならないと考えます。それで、「熊」にまつわる話として、くまモンを取り上げました。

くまモンの目の秘密をご存じでしょうか。くまモンの生みの親の一人、小山薫童さんは、「くまモンの目って、実は驚いていることを表現しているのです。くまモンの視線は県の外に向いているのではなく、県内に目を向け、そこに驚きの発見があることを表しているのです。熊本サプライズにつながっているのです」と最近のラジオ番組で話されていました。ですから、自分の内面に目を向ける話をしたのです。

講話の中でも少し紹介しましたが、10年以上も前につくられた熊本県のPR動画があります。「くまもとで、まってる」という動画です。ぜひ、ご家族でも視聴されてください。熊本に生きるいろんな人たちが、まわりの人を大切に思い、大切にしている姿を見ることができます。2学期を終え、年末に向かうこの時期、家族や自分の身の回りを見つめ直してほしと思っの講話でした。(裏面へ続きます)

あと1週間と少しで令和8年、2026年がスタートします。年末年始をみんなで楽しく過ごし、力を蓄えて新学期に向かってほしいものです。3学期はあっという間です。だからこそ全力で進みたいと思います。今学期は大変お世話になりました。

た。最後に改めてお礼申し上げます。
※この2学期には、まだまだ出せていなかったお話がいっぱいありました。3学期にも2学期ネタの学校だよりを出しますのでご了承ください(笑)
(校長)

校長先生の虫眼鏡 「2学期 終業式 くまもとで、まってる」

みなさん、おはようございます。ついに2学期最後の日になってしまいましたね。

でも、今週は楽しかったでしょう。昨日は博物館。おとといは、いろいろな学年でお楽しみ会などなど。もちろん、勉強もしっかりとやっていましたね。

2学期を終えてみて、どうですか？目標にしたことはできましたかね。そういった振り返りをまだやっていないという人は、今日の学級活動の中で、自分をふり返ってほしいと思います。

さて、今年を振り返ってみると、毎年、大変なのですが、大変なことがいっぱいありましたよね。今年大変だったことって何ですか？

校長先生は、1 夏休みの大雨 2 お米の値上がり 3 何だと思いませんか？実はね、今年の漢字一字とも関係するのです。今年の漢字一字は知ってますか？

そう！「熊」ですね。熊の被害が多かったからね。人間は自分たちが勝手に生きてはいけけないのでしょうか。熊も人間も仲よく暮らすことができる世界にしなければならないと校長先生は思います。

今年の熊ってあまり明るいイメージではなかったのですが、君たちにとって明るいイメージの熊はいっぱいいますよね。パンダ、レッサーパンダ、白くまのマルル。そして何より、熊本県PR マスコットキャラクター「くまモン」ですね。みんな知っていますよね。

では、くまモンの目ってどんな目だったか知っていますか。(挙手) さすが、全員正解ですね。くまモンの顔って、こんななんですね。

さて、この表情はどんな表情でしょうね。

1 遠くを見てボーッとしている。 2 やさしく笑いかけている。 3 驚いて、びっくりしている。さあ、どれでしょう？実は！！3の驚いて、びっくりしているなんです。これは、くまモンの生みの親のプロデューサー 小山薫堂さんという方が教えてくださったのです。

小山さんが言うには、くまモンの目はびっくりしているんだと。それは熊本にはまだまだ驚くような感動がいっぱいあるんだということをお話しているんだそうです。そして、くまモンの視線は熊本から県外を見ているのではなく、その視線の先は、熊本県内のサプライズ！驚きを発見しているところを表しているんだそうです。ゆるキャラのほとんどが県外に目を向けている中、くまモンだけが自分の県を見つめているんだということをお話されていました。これ、先週の金曜日、朝6時30分からのラジオ番組で小山さんが言っていたことだから、みんな知らない秘密かもしれませんね。

そんなくまモンが熊本の魅力を発見している動画があるので紹介しますね。

題名は、「くまもとで、まってる」です。少し見てみましょう。(動画視聴)

今、世の中はみんな外ばかりを向いているような気がします。他人の悪いところだけを見て、悪口を言ったり、SNSで書き込んだりする人がいます。くまモンの目やこの動画が教えてくれることは、自分自身や自分のまわりを見つめ直すことを大切にする事なんだと校長先生は思いますよ。

明日からは冬休みです。そんな自分のまわりを見つめ直すとてもよい機会です。大掃除、大晦日、お正月、年始参り、家族と一緒に過ごす時間が長い分、見つめ直すことができるのではないのでしょうか。

そして、3学期にまた会いましょうね。笑顔で2026年と一緒にスタートできることを楽しみにしています。では、冬休みも思いやりの心で笑顔の本荘小をめざしましょう。これで校長先生のお話を終わります。